千葉大学附属図書館報 ISSN 1346-6771

InfoPort

寄稿
アダム・スミスコレクション
への追加

TOPICS
館報新装刊行
DVDコーナー（本館）
利用者端末一新（園分）

No. 1
2001. 7
The Chiba University Library Bulletin

Library Topics

図書館報リニューアル

昭和49年７月に受入図書目録としてガリ版刷りで作られた「図書館の本」は、そのタイトルを受けついで、昭和52年９月（No. 10）から改めて図書館報として発行され、平成13年３月にはNo. 77を発行するにいたりました。

さて、平成13年４月、総合メディア基盤センター（旧 ・ 総合情報処理センター）と附属図書館との連携強化がなされたことを機に、タイトルを「InfoPort」と改めることにしました。「InfoPort」とは、情報の港でありたいという願いを込めた造語です。「図書館の本」に増してご愛読いただければと思います。

本館にＤＶＤコーナー、オープン！

６月５日、本館視聴覚室にDVDコーナーがオープンしました。再生専用パソコン６台により、世界の名作映画78点のソフトを提供しています。映画史に残る名作を楽しんでみてはいかがでしょうか。映画の作品リストはビデオ ・ ケースの並んでいる視聴覚資料の棚のほかWeb上(http://www2. ll. chiba- u. ac. jp/~ san/ net/ DVD. htm)にもあります。また一部の作品は館内の大型モニターでも紹介しておりますので、観たい作品を選んで受付カウンターまでお申し込みください。

なお、このコーナーでは、DVDの映像ソフトに加え、カセット・テープ、コンパクト・ディスクも利用できるほか、今後は海外衛星放送(BBC、CNN)の利用も予定しています。

園芸学部分館の情報環境整備

園芸学部分館の情報検索コーナーの端末を一新しました。これらの端末は、起動時に初期設定状態とすることで安定した動作環境を提供します。

また、新たにCD- ROMチェンジャーを導入しました。これにより、検索途中のディスク交換を不要としたシームレスな環境を実現し、一段と検索効率を高めることができます。このCD- ROMチェンジャーからは、農学・園芸学関連データベースのAGRISとHORT CDが利用できます。

更に、分館の利用案内情報や館内配置図等を表示するPCを設置することで、利用者への情報提供を行う試みも始めました。園芸学部分館では、分館の情報環境に関することや情報提供の方法について、利用者の皆さんからの忌憚のないご意見をいただきたいと考えています。

表紙: アダム・スミスの肖像「Recherches sur la nature et les causes de la richesse des nations; par Adam Smith. Second丸dition, avec des notes et observations nouvelles; par le marquis Garnier. A Paris, chez Mme veuve Agasse. 1822」から（次ページ参照）

CONTRIBUTION

アダム・スミスコレクションへの追加（３）

法経学部教授　野　澤　敏　治

ここに紹介する本はスミス『国富論』のフランス語訳である。フランス語訳にも幾つかあるが，その中で最も有名なG.ギャルニエによる訳である。

Recherches sur la nature et les causes de la richesse des nations; par Adam Smith. Second 丸dition, avec des notes et observations nouvelles; par le marquis Garnier. A Paris, chez Mme veuve Agasse. 1822

Tome 1,(vi)+xxiv+ clvi+ 368. Tome 2,(iv)+493. Tome 3,(iv)+564.

Tome 4,(iv)+556. Tome 5,(iv)+670. Tome 6,(iv)+572.

訳本の価値はどこにあるのか。というのは，翻訳は反訳であって原本に対する裏切りであるという言葉があるくらいだからである。だが翻訳は誤解を含めて，理論や思想・政策の国際的伝播を考える上で，一つの意味のある研究対象となりうる。

『国富論』は経済学の古典の中でも最も広く訳されている本であろう。それはこれまでに18ケ国語に訳されてきており，今日に至るもなお新訳が試みられつつある。最も早い訳は『国富論』刊行年と同じ1776年に出版されたドイツ語訳であり，日本語訳は遅れて明治の1870年に出された部分訳が最初である。わが国は翻訳することに世界一熱心であり，抄訳を含めると既に14種も出ていて，今日なお新訳が出されつつあるという状況である。

さてフランス語版のことであるが，『国富論』が刊行された翌年の1777年2月，Le Journal des sçavantsに書評が出て，そこには『国富論』は政治家に役立つ本であって，フランス語に訳すことはできても，その出版の費用には耐えられないだろうと書かれていた。しかしその後，出版の試みは続く。最初に1778年，オランダのハーグでMという匿名氏による訳が出され，次に1779年から80年にかけてブラヴェ師による訳が雑誌に出る。1781年にはそれがまとめられてスイスのイブルドンで刊行される。スミスはブラヴェに対しては，翻訳に満足していると礼状を出しているが，モルレがこの訳ではスミス理論の抽象的なところ（「スコットランド的精妙さ」）が理解されないと批評していた

ように，ブラヴェ訳は悪訳だとみなされている。訳者自身も認めているように，それはまったく自分用に訳したものであったから，正確さには欠けていた。その後，1790年にJ．A.ルーシェによって余り価値のない訳が出されたのを間に挟んで，第４の定評ある訳がギャルニエによって1802年に刊行される。

このギャルニエ訳の初版はパリで５巻本として出され，そこにはスミスの肖像と訳者による序文および注解が付されていた。第２版は1822年に６巻本で出され，新しい注解が付け加えられた。そして1843年にはA.ブランキによって改訂版が出され，『国富論』に対してなされたブキャナン，マカロック，マルサス，リカード，J.ミル，シスモンディ，ベンタムの評言が付け加えられる。本コレクションに収めたのは前記の第２版である。

このギャルニエ版の特色は，経済学を国民的類型の観点から見ると，二つある。一つは『国富論』の体系構成に対して批判的であること。もう一つは英仏の経済学を比較して，フランス経済学の優秀性を押し出していること。

『国富論』の構成に問題があることは早くから指摘されていた。スミスでは貨幣についての議論が各編にわたって分散されている，等。ギャルニエはスミスの理論構成が真の意味で統一的でなく，科学に必要な演繹的方法が無視されていると見る。彼からすれば，経済学の本論は価値論から始められるべきであって，その前に述べられている分業論は序論にすぎないと映る。また『国富論』には銀価値の変動論を始めとする「余論」が幾つかある。それも非常に長くて本論を超えるものもある。ギャルニエはそれらは本論と無縁であると考え，こういう脱線がスミスに対する理解を妨げているから，それらは巻末にまとめて付録とすべきであると批判する。そう批判して，彼は自ら自然と思われる論理的順序に『国富論』を編成し直し，その成果を読者に提供する。このように再構成された理論的概括の試みは，彼以外にもコンドルセ侯爵やJ．B.セー等によって試みられ，その努力によってフランスでは『国富論』は受け入れられていく。

またギャルニエはスミスをフィジオクラートと比較し，後者の議論の方を正しいと判断した。そこにはお国自慢にのみ帰すことのできないものがあり，経済学の対象について反省すべきことがある。それはフィジオクラートが人間の経済に対する自然の作用を認めていたことである。但し，フィジオクラートはそのことを農業部門にのみ認めていた。その自然の作用の範囲を工業部門を含む産業にまで広げ，人間は物そのものを創造することはできず，ただその形態を変換するのみであって，もしも創造するとすれば，それは効用であると考えたのが，セーであった。

以上，こんな一訳本からでも，我々は経済学の対象と方法について問題を構成することができるのである。経済学の祖国はイギリスであるとしても，このようにその発展にフランス的特質が役立つことがあったように，西ヨーロッパとは異文明のわが日本が独自の貢献をすることができるのではないか。例えば，経済学の初発概念である交換価値はフランスのスミス受容者におけるように体系上の理論的定義のみで済ましてよいものでなく，価値論の前提として置かれた分業論や交換本能論の歴史的社会学的意義と関連づけることなくして翻訳はできないのではないか。また，スミスが重商主義のように貨幣論をまとめて考察しなかったことには彼なりの内在的理由はなかったのか。彼が余論を置いたのも，それを本論の展開にとってどうしても必要なものとして置くことはなかったのか。こういう問題設定は同時にそれらの問題に解答を試みてきたわが先学達の営みを再評価することにもつながるだろう。

教員からの寄贈著書（平成13年2月～平成13年5月配架分）

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。（50音順敬称略）

【　本　館　】

伊東　　正（園芸）
・総合学習遊んで学ぶ野菜の本／伊東正監修.- 偕成社,2001
（本館閲覧室３階　375.312/SOU）

木下　豊房（文）
・論集・ドストエフスキーと現代:研究のプリズム／木下豊房,安藤厚編著.- 多賀出版,2001
（本館閲覧室4階　980.268/DOS）
・場:ドストエーフスキイの会の記録;Ⅲ-Ⅳ.- 海燕書房,1985-1999.- 分担執筆（本館閲覧室4階　980.268/DOS）

佐藤　和夫（教育）
・女たちの近代批判:家族・性・友愛／佐藤和夫著.- 青木書店,2001
（本館閲覧室3階　367.1/ONN）

清水　文七（名誉教授）
・ウイルスの正体を捕らえる:ヴェーロ細胞と感染症／清水文七著.- 朝日新聞社,2000
（本館閲覧室3階　491.77/UIR）

鈴木　敏恵（教育）
・マルチメディアで学校革命:心を開く知の環境へ建築家からの提言／鈴木敏恵著.- 小学館,1996
（本館閲覧室3階　375.19/MAR）
・ネットデイで学校革命!:教育改革・次世代社会の切り札／鈴木敏恵編著.- 学事出版,2000
（本館閲覧室3階　375.199/NET）
・ポートフォリオで評価革命!:その作り方・最新事例・授業案／鈴木敏恵編著.- 学事出版,2000
（本館閲覧室3階　375.17/POT）
・鈴木敏恵の未来への提言／鈴木敏恵著.- 学事出版,2000
（本館閲覧室2階　159/SUZ）

土屋　　俊（文）
・現代日本語必携／中村明編- 學燈社,2001.- 分担執筆
（本館閲覧室4階　810/GEN）

栃木　孝惟（名誉教授）
・軍記と武士の世界／栃木孝惟著- 吉川弘文館,2001
（本館閲覧室4階　913.43/TOC）

中窪　裕也（法経）
・労働法の世界／中窪裕也,野田進,和田肇著.- 第4版.- 有斐閣,2001
（本館閲覧室3階　366.14/ROU）

西村　靖敬（文）
・1920年代パリの文学:「中心」と「周縁」のダイナミズム／西村靖敬著.- 多賀出版,2001
（本館閲覧室4階　902.05/192）

藤井　真理（文）
・フランス・インド会社と黒人奴隷貿易／藤井真理著.- 九州大学出版会,2001
（本館閲覧室3階　678.235/FUR）

教員からの寄贈著書（平成13年2月～平成13年5月配架分）

【亥鼻分館】

清水　文七（名誉教授）
・ウイルスの正体を捕らえる／清水文七著.- 朝日新聞社,2000
（亥鼻閲覧室　QW160）

橘　　正道（名誉教授）
・ハーパー生化学／ハーパー原著;上代淑人監訳.- 丸善,1997.- 共訳.原書24版の翻訳(亥鼻閲覧室　QU 4)

三浦　義彰（名誉教授）
・はじめての生化学／三浦義彰,橋本洋子共著.- 杏林書院,2000
（亥鼻閲覧室　QU 4）

【園芸学部分館】

安藤　敏夫（園芸）
・日本花名鑑;1:（2001- 2002）／安藤敏夫[ほか]編集.- アボック社,2001
（園芸参考　627/N）

伊東　　正(園芸)
・総合学習遊んで学ぶ野菜の本／伊東正監修.- 偕成社,2001.- 全6巻
（園芸閲覧室　626/S）

犬伏　和之（園芸）
・土壌学概論／梅宮善章[ほか]著;犬伏和之,安西徹郎編.- 朝倉書店,2001
（園芸閲覧室　613.5/D）

古在　豊樹（園芸）
・閉鎖型苗生産システムの開発と利用:食料･環境･エネルギ問題の解決を目指して／古在豊樹編著.- 養賢堂,1999
（園芸閲覧室　615.5/H）
・宿根草の開花調整／Greenhouse Grower編;古在豊樹[ほか]訳.- 農文協,2001（園芸閲覧室　627.5/S）

斎藤　　修（園芸）
・フードシステムの構造変化と農漁業／土井時久,斎藤修編集;高橋正郎監修.- 農林統計協会,2001
（園芸閲覧室　588.08/F）

本山　直樹（園芸）
・農薬学事典／本山直樹編集.- 朝倉書店,2001（園芸閲覧室　615.87/N）

吉田　義明（園芸）
・労働とジェンダー／吉田義明[ほか]著;竹中恵美子編.- 明石書店,2001
（園芸閲覧室　367.1/R）

千葉大学附属図書館運営委員会（平成13年5月1日現在）

附属図書館長	土屋　俊
亥鼻分館長	安達惠美子
園芸学部分館長	松井　弘之
総合メディア基盤センター長	島倉　信
文学部	佐藤　博信 三浦　佑之
教育学部	稲垣佳世子 濱田　浩美
法経学部	鈴木　庸夫 小柏喜久夫
理学部	小山　範征 安藤　哲哉
医学研究部	森　千里 栗山　喬之
薬学研究部	濱田　康正 懸川　友人
看護学部	吉本　照子 宮﨑美砂子
工学部	小倉　克之 勝浦　哲夫
園芸学部	百原　新 吉田　義明
医学部附属病院	里村　洋一 田邊　政裕
大学院社会文化科学研究科	村岡　英裕
大学院自然科学研究科	古森　雄一
留学生センター	後藤　春美
外国語センター	田端　敏幸
環境リモートセンシング研究センター	橋本　俊昭
真菌医学研究センター	山口　正視
事務局長	杉浦　哲郎

人　事　異　動

（新任）平成13年4月1日
附属図書館園芸学部分館長（併）
　松井　弘之（園芸学部教授）

（退任）平成13年3月31日
　油井　正昭（附属図書館園芸学部分館長（併））

（転入）平成13年4月1日
事務部長
　大浪由紀夫（長崎大学附属図書館事務部長）
閲覧・参考係長
　加藤　晃一（高エネルギー加速器研究機構国際研究協力部学術情報課情報資料第二係長）

（配置換）平成13年4月1日
情報基盤推進室長
　小貫　操（経理部情報処理課課長補佐）
情報管理課総務係長
　鈴木　謙一（経理部情報処理課情報企画係長）
情報基盤係長
　小澤　清二（総合情報処理センター）
情報サービス課相互利用係長
　志賀　秀枝（情報サービス課亥鼻サービス係長）
情報サービス課亥鼻サービス係長
　太田葉子（情報サービス課閲覧・参考係長）
情報管理課図書情報係
　高野　厚子（園芸学部図書係）
情報管理課亥鼻情報係
　米田　奈穂（情報管理課図書情報係）
情報基盤係
　岡野　正明（工学部情報画像工学科）
情報基盤係
　中村　芳幸（総合情報処理センター）
情報基盤係（兼）
　淺野　祐一（情報管理課雑誌・電子情報係）
園芸学部図書係
　田久保信夫（情報管理課亥鼻情報係）
医学部附属病院医事課医事係長
　及川　利夫（情報管理課総務係長）

（辞職）平成13年3月31日
放送大学学園教務部図書課図書第一係長
　江波戸登弥子（情報サービス課相互利用係長）

（退職）平成13年3月31日
　石倉　賢一（事務部長）

行　事　日　誌（平成13年3月～6月）

3月2日	平成12年度第3回外国雑誌検討委員会
3月8日	平成12年度第5回附属図書館運営委員会
3月16日	平成12年度「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」第3回理事会（於：千葉センシティタワー）
4月19日	平成13年度第1回外国雑誌検討委員会
4月20日	第56回関東地区国立大学図書館協議会総会（於 ： 群馬大学）
4月25日	平成13年度「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」第1回理事会（於：千葉センシティタワー）

5月13日	平成13年度「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」総会（於：千葉市生涯学習センター）
5月15日	平成13年度第2回外国雑誌検討委員会
5月29日	平成13年度国立大学附属図書館事務部課長会議（於:東京医科歯科大学）
5月24日	平成13年度第1回附属図書館運営委員会
5月31日	平成12年度第4回国立大学図書館協議会理事会（於:東京大学）
6月26日	第48回国立大学図書館協議会総会（於:北海道大学）

千葉大学附属図書館報 InfoPort No.1
平成13年7月発行
編集・発行 千葉大学附属図書館
〒263- 8522千葉市稲毛区弥生町1- 33
TEL:043- 290- 2262
FAX: 043- 290- 2266
URL: http://www.ll.chiba-u.ac.jp/